

帯広—JICA 協力隊連携事業 JICA 海外協力隊（短期）要請概要等

1. 国名：パラグアイ共和国

2. 募集職種・人数：家畜飼育 3名

3. 派遣期間：2024年2月下旬頃～3月下旬頃を予定

※JICAの選考終了後に決定

4. 配属先概要

1) 受入省庁：社会開発企画庁

2) 配属先：パラグアイ生産者組合連盟（FECOPROD）

3) 任地：アルト・パラナ県，イタプア県にある FECOPROD 傘下の農協

4) 県概要

① アルト・パラナ県：

アルト・パラナ県は、ブラジルとの国境の町、エステ市（人口国内第2位）を中心とした県であり、22市町村から構成されている。エステ市は、ブラジル側のフォス・ド・イグアス市と橋で繋がっており、行き来は盛んである。また、世界最大級のイタイプダムや日系移住地のひとつであるイグアス移住地もある。イグアス移住地の日系セタパール財団には、本学のパラグアイオフィスが設置されており、関係が深い。小麦、大豆、トウモロコシの生産などは、国内有数である。

② イタプア県：

イタプア県は国内第10位（アスンシオン及びその近郊を除くと2位）の都市エンカルナシオン市を中心とした県で、小麦、大豆などの穀物、さらには畜肉製品や牛乳加工品の生産地として知られている。30市町村から構成され、県庁は農業分野を担う農業生産開発局をはじめ、公共事業部、教育文化部、環境部他から成り立つ。同県内には世界各国からの移住が多いが、特にドイツ系と日系の移住が多い地域である。

5. 要請概要

1) 要請理由

現在、配属先は、JICAの支援のもと、帯広畜産大学と協働で、草の根技術協力事業「パラグアイ酪農の持続可能な発展をめざすネットワークを活用した酪農家支援体制構築プロジェクト」を実施している。このプロジェクトは、配属先が開発した酪農情報システム（SISCOLE）を利用し、科学的に示されたデータに基づいた酪農・経営指導ができるようになることを活動の一つとしている。

パラグアイ酪農は、群管理（牛をグループで飼育し、管理）が基本であることから、個体の細かい情報を把握することが難しく、病気の発見が遅れたりすることがあった。この

ことにより、乳価が低く抑えられたり、薬品代の支出など、酪農家にとって、大きな課題問題であった。これらの課題点を解決するためには、個体管理（牛を一頭ずつ管理）を行う必要があるが、一頭ずつ牛を管理することは、これまで群管理が当たり前であった酪農家や獣医師にとって負担であることから、なかなか浸透がしない。このことから、プロジェクトを促進させるためには、草の根技術協力プロジェクト専門家、長期ボランティアと効果的な連携が必要と考え、その連携ができる可能性のある帯広畜産大学の短期ボランティアを要請があがった。

2) 予定されている活動内容

本プロジェクトでは、酪農情報システム（SISCOLE）を活用し、搾乳衛生、飼料給与改善、繁殖管理改善をとおして、酪農生産性を向上させて酪農家の経営改善を図ることを目的とする。農協に配属された長期ボランティアだけでなく、プロジェクトに参加している獣医師等からのサポートを受け、活動を実施する。

3) 業務使用言語：スペイン語（訓練言語）

4) 選考指定言語：英語

※学内選考時は、TOEIC等のスコアは不所持でも問題ありませんが、JICA選考時に必要になりますので、JICAボランティア応募時まで各自受験しておいてください。
[語学力審査について（派遣期間：1ヵ月～1年未満） | JICA海外協力隊](#)

6. 地域概況

- 1) 気候：温暖湿潤気候
- 2) 気温：（年間：0～40℃、派遣時期：15～35℃）
- 3) 電気：安定
- 4) 電話：通話・インターネット可
- 5) 水道：安定

7. 応募条件

- 1) 帯広畜産大学所属（派遣時に学部3年次以上、もしくは大学院生）
- 2) 日本国籍を有していること（JICAから提示された条件）

8. その他

JICA合否決定後、大学が定期的に行うスペイン語研修や搾乳実習などに参加すること。

以上